

## 2 目標達成計画

事業所名：グループホームさくらつつみ

作成日：平成 22年 10月 6日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	41	少食や水分摂取を拒否する利用者があり、職員も栄養不良を心配し促しを行うが、なかなか摂取が進まず脱水症等の危機を感じている。	本人の食べたい物を一緒に作り、食事量を確保でき、体力をつける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>好きなメニューを聞く。</li> <li>一緒に作る。</li> <li>空腹になるように身体を動かす。</li> <li>水分摂取は1回量を減らし、数回に分ける。</li> </ul>	6 か月
2	26	計画作成担当者により計画作成しているが、普段携わっているスタッフは日々心身状況変化への気づきは持っている。しかし、プランに起こすことが苦手である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>気づいた時点でメモに残し、当日中にプランに起こす習慣をつける</li> <li>利用者の課題をプランできる記録と観察眼を持つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ライフサポートプラン様式を活用する。</li> <li>利用者担当スタッフを決める。</li> <li>スタッフは担当者に気づき報告、検討する。</li> <li>カンファレンスにて支援共有を図る。</li> <li>出勤時にはプランに目を通し意識しながら支援する。</li> <li>日々の観察をする。</li> <li>各利用者を振り返る時間をもち、気づきをプランニングする。</li> <li>モニタリングする。</li> </ul>	6 か月
3	33	入院を機にADL低下で退院してくる。在宅復帰(ホーム)を余議なくされることから、この先重度化に対応する支援の不安がある。	重度化した利用者を怖がらずに自信を持って対応できるように研修を積む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>入、退院時の情報提供(医療連携室連携)。</li> <li>家族への協力の要請を行い一緒に支援する。</li> <li>看取りに関するマニュアル作成と研修。</li> </ul>	8 か月
4					か月